健康分野の適応策

健康分野の適応の考え方は以下とする。

- **既に実施されている対策を今後も充実強化する。**
- **調査・研究、各種情報の収集・蓄積・発信、専門家等の育成等を確実に推進する。**
- **個人レベルでの適応策も多いことから、適応策に係る普及啓発を図る。**

健康分野の適応策のオプション

技術オプション	
技術	●感染症のワクチン、新治療薬開発 ●媒介蚊対策徹底（発生環境の除去、幼虫防除等） ●大気汚染物質の排出抑制（気候変動による大気汚染への影響に対して）
情報・知識	●熱中症等に関する保健指導マニュアル等作成・普及 ●感染症サーベイランスの徹底 ●媒介生物の発生・分布状況の調査
政策オプション	
法制度	●熱中症予防等に関する条例等の制度制定 ●高齢者世帯へのケア（介護制度活用、町内会やボランティアによるケアの仕組み等）
人材	●媒介蚊防除対策の立案可能な人材の養成 ●体調管理等の一般への普及啓発
社会経済オプション	
社会システム	●職場・学校での取組の支援

（環境省 地球温暖化影響・適応研究委員会, 2008より作成）

国民生活・都市生活分野の適応策

国民生活・都市生活分野の適応の考え方は以下とする。

- 個人やNGO、民間企業等と地方自治体及び政府が連携し、効果的に適応策を実施する。
- 地方自治体等の既存計画や対策プログラムに効果的な適応策を組み込む。

国民生活・都市生活分野の適応策のオプション

技術オプション	
技術	●災害による家屋被害軽減のための建物の強化 ●遮熱性・断熱性の塗料・建材等の活用 ●媒介蚊や衛生害虫の発生環境の除去 ●緑化の推進
情報・知識	●ハザードマップ等の提供・配布 ●熱中症注意情報等の提供・活用
政策オプション	
法制度	●高齢者等への暑さ対策ケア（町内会、介護制度の活用） ●クールビズ ●サマータイム制
人材	●防災訓練、防災教育の実施
社会経済オプション	
社会システム	●自主防災組織の設置
経済システム	●天候デリバティブを活用した異常気象のリスク回避

（環境省 地球温暖化影響・適応研究委員会，2008より作成）